



# FSCだより

北里大学獣医学部 附属フィールドサイエンスセンター

第 64 号 2017.2.22

## FSCの設立趣旨

土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。

## 十和田農場から

### 紅葉祭 2016 に参加

10月8～9日に開催された獣医学部の文化祭「紅葉祭」に参加しました。

毎年恒例となった十和田農場の展示・ワークショップですが、今年はプロの羊毛作家である中川麻子さんをお招きして、本格的なワークショップを開催しました。

中川さんは青森市でホームスパンの教室をひらいており、特に県産の羊毛にこだわり原毛から糸を紡いで創作活動をしています。今年から十和田農場の羊毛を購入していただいています。ホームスパンの技術だけではなく、青森県で育つ羊一頭一頭が生み出した羊毛を県民に知ってもらいたいという強い思いで活動をされています。

様々な形で羊毛に触れてほしいという中川さんの思いを知って頂きたくて、広い教室を借りてたくさんの方の来場者の皆さんに体験をしていただきました。また、農場の羊毛で作った中川さんの教室の作品も展示し、より羊毛を身近に感じることができる空間を提供できたと思います。十和田農場ではこうした取り組みを通じて、学生や入学希望者の関心を深めることだけにとどまらず、地域への貢献も果たしていきたいと思っています。



## マンクス・ロフタン種を譲渡

12月7日に、十和田農場のマンクス・ロフタン種メス2頭を東京牧場株式会社へ譲渡しました。

東京牧場は、東京都檜原村で主に烏骨鶏を飼養しています。単に家畜生産をするだけでなく、檜原村という小さな村のPR活動にも積極的に取り組んでいます。また、レア・シープ研究会と協力してマンクス・ロフタン種の血統維持と増頭に努めています。現在、オスのマンクス・ロフタン種が2頭いるとのことで、今回は十和田農場のメス「モカ」と「しょうこ」がお嫁入りすることになりました。

譲渡当日、路面が凍結する中、檜原村を全面に押し出した車両がコンテナをけん引して颯爽と現れました。この装備で日本各地に羊を輸送しているそうです。この後、12月中に東京牧場で交配を行い、春に子羊の誕生を待ちます。

マンクス・ロフタン種は、血統登録されている純粋種が国内に60頭ほどしかいません。海外からの生体輸入も難しい状況であることから、現在は人工授精や農場間での繁殖情報の提供などの連携を勧めて各農場内の近交系数を下げる取り組みを試みています。十和田農場としても、この希少なめん羊の維持・増頭に協力し、大学としての役割を果たしていきたいと考えています。



1. 東京牧場株式会社輸送車 2. モカ 3. しょうこ

## 八雲牧場から

### 紅葉祭2016に参加

10月8~9日にかけて、八雲町・北里大学交流推進部会として紅葉祭へ参加しました。北里八雲牛と八雲産の長ネギを利用した『北里八雲牛ネギバラ焼き』を300食用意して行きましたが当日は朝からメインステージが中止されるほどの大雨で客足は遠退いてしまいました。2日目は初日が嘘のような晴天となり、多くの人に購入してもらうことができました。購入してくださった学生の皆様、教職員の皆様この場を借りて御礼申し上げます。

## 育成牧場からの退牧

11月8日に、町営育成牧場より今年最後の退牧を行いました。

今年度からは地域との連携、普及及び北里八雲牛の増頭を目的として、有機牛以外の

牛から出荷の近い 21 頭を選抜し、育成牧場で放牧を行いました。

このことで場内の草資源を節約することができ、最終的には増頭していくことが可能となります。

今期は 5 頭が出荷されず残ったことから、今後の町内冬期間飼養管理の手法確立のため、町内酪農家の休眠牛舎を利用して飼養管理を開始しました。

最初は初めてのスタンション牛舎に戸惑い、スタンションから顔を出すこともできませんでした。最近ではすっかり慣れて飼料を催促してくるようになりました。



### 北海道肉専用種枝肉共励会（北海道畜産公社十勝工場にて）

去る 11 月 11 日に、帯広において今年度の北海道肉専用種（アンガス・日本短角種）枝肉共励会が行われました。

今年も日本短角種の部で、会長賞を受賞させていただくことができました。

枝肉共励会（北海道畜産公社十勝工場）：

- |   |          |        |                        |
|---|----------|--------|------------------------|
| ① | 短角部門最優秀賞 | 酪農学園大学 | 28.4 か月齢去勢、枝肉重量 524kg  |
| ② | 会長賞      | 北里大学   | 29.5 か月齢去勢、枝肉重量 389 kg |
| ③ | 赤身賞      | 高橋牧場   | 26.4 か月齢雌、枝肉重量 443 kg  |

帯広畜産大学口田教授のコメント

- ① 脂肪交雑の入り具合、ロース芯面積の大きさ皮下脂肪は厚いが筋間脂肪が少ない。
- ② 本会の理念である北里大学八雲牧場での飼養管理への高評価、脂肪は黄色いが枝の作りが良い。
- ③ しっかりとした赤身でロース芯が 57 cm と大きい。

講評でも言われたように理念を高く評価していただきましたが、今後は肉質にも注目した飼養管理を心掛けていきたいと思えます。北里八雲牛の理念からすると③の襟裳・高橋牧場の牛肉が目標とする枝肉と考えますが、給与している飼料はデントコーン、ビ

ール粕および牧草とのことで、私たちは牧草だけでこのような枝肉を作りたいと感じました。



① 最優秀賞



② 会長書



③ 赤身賞



会長賞の盾を受け取る寶示戸センター長

(編集担当：畔柳 正)